

【助産管理】

科目名	助産管理学	講師名	① 教育主事 (16) ② 非常勤講師 (4) ③ 岡山医療センター看護師A (6) ④ 岡山医療センター看護師B (4)	学 年	1	履 修 期	第1学期～ 第2学期				
単 位	2単位										
時間数	30時間										
講師実務経験	講師①助産師・看護管理者としての実務経験あり										
授業概要	助産業務の管理および病院・助産所における管理の基本およびリスクマネジメント・災害時の助産師の役割を理解する。										
授業科目目標	1. 助産管理の基本を理解し、場に応じた助産業務管理の特徴が理解できる。 2. 周産期医療システムが理解できる。 3. 周産期における医療安全のための管理が理解できる。 4. 災害対策と母子への支援活動が理解できる。										
授業内容	講師① 16時間 (試験1H含む) 第1回 1. 助産管理の実際 2. 周産期における医療安全 1) 助産管理の基本 2) 助産業務管理の過程 第2回 3) 助産業務と関係法規 第3回 4) 場に応じた助産業務管理の特徴 (概論) 第4回 5) 助産業務管理の実際 3H 講師② 4時間 第5回 6) 助産所の管理・運営 講師③ 6時間 第6回 7) 産科棟の管理 第7回 8) 外来の管理、院内助産・助産外来 第8回 9) 医療安全の管理体制と医療事故防止 講師④ 4時間 第9回 10) NICUの管理、医療安全 第10回 11) NICUの課題、地域連携、多職種との協働 講師① 第11～13回 3. 周産期医療システム 講師② 第14回 4. 災害対策と母子への支援活動 終了試験 1H					講義	講義	講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験 講師① 70点 講師② 10点 講師③ 10点 講師④ 10点										
テキスト	助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 医学書院 助産学講座10 助産管理 医学書院 助産師業務要覧Ⅰ「基礎編」 日本看護協会 助産師業務要覧Ⅱ「実践編」 日本看護協会 助産業務ガイドライン										
参考書	授業中に適宜提示する										
学生へのメッセージ	助産管理について、組織論から助産業務の管理の基本的な考え方から実際までを実践経験のある講師陣から学びます。グループワークも交え、具体的な管理をできるだけイメージできるよう展開します。										